



## VOICE 「苫小牧歯科技工士会の活動報告です」



苫小牧歯科技工士会会長  
瀬川幸継

皆さんこんにちは、私は苫小牧歯科技工士会 瀬川幸継です。旭川歯科学院を20年前に卒業し札幌で就職、6年半勤務した後、苫小牧に転勤となり3年前から苫小牧歯科技工

士会の会長を務めさせていただいています。

各地で退会者の増加・会員の高齢化・若い世代の技工士不足等から会員減少の問題を耳にすることが多い昨今、組織拡充のため皆さん苦心されているかと思いますが、そんななか苫小牧歯科技工士会（西は白老町～東はえりも町まで会員数30名弱）は地方の技工士会としては珍しく、約半数が20～30代の若い会員で構成されているため、そんな若い世代の会員が楽しんで積極的に参加し会の活性化につながるようなイベントを地域の歯科医師会・衛生士会の協力を得ながら多く企画するよう心掛けています。今回はそんな活動の一部を紹介したいと思います。

苫小牧は、歯科医師会・衛生士会との連携・交流が盛んな地域だと実感しています、札幌から苫小牧に転勤して来た時にもそれを強く感じました、これは苫小牧歯科技工士会の諸先輩方が長年培われてきた信頼があつてのことであり、苫小牧歯科技工士会の大きな財産であると感じます。合同協議会や新年会・レクリエーション行事、そして市民への歯の健康を促進する大きなイベント等、技工士会単体では成し得ない活動への協力をさせていただくことも多くあります。

その主だった行事の1つが『歯っぴいフェスタ』です。これは、6月の「歯と口の健康週間」に合わせて歯科医師会・衛生士会・技工士会・苫小牧市共催、保健所・教育委員会など後援で開催され、歯に関する多彩なイベントを通じて市民に歯と口の健康の大切さをPRするイベントで、フッ化物塗布や歯並び相談、歯磨き指導そして小学生の図画ポスターコン

クール表彰等が行われます。1000人を超える来場者があ



り、会場となる市民活動センターは人で賑わいます。技工士会は石膏の人形に色を塗るコーナーを担当していて、動物やキャラクターを模った親指大の石膏人形800体ほど用意し、来場した子供たちに絵の具で色を塗ってもらいます、

夢中で色を塗っている子供たちの横でそれにもまして真剣に色を塗っているお父さんお母さんもいて、親子で楽しめるコーナーとなっています。また、壁に日技のパンフレットを拡大コピーしたものを掲示しコーナー入口には技工物も展示して、もっと歯科技工士という職業を一般の方々に知っていただく機会になるよう努力しています。

そして、11月の「いい歯の日」前後にも、『歯の健康まつり』といった同じようなイベントがあり、こちらの方では、来場された方の指をアルジネート印象材で印象をとって、その場で石膏を流し指模型にしてお渡しするコーナーを担当しています。こちらも普段見慣れない材料を間近で見られるとあって、興味津々なお子さんもいて、少しでも技工に興味を持ってもらっていただければと感じます。普段人前に出る事の少ない我々技工士にとっては、貴重な機会です、特に若い会員には、良い刺激になっているのではないかと思います。

そのほかにも、レクリエーション的イベントとして毎年、衛生士会との合同新年会やボーリング大会があり、和気あいあいとしてとても楽しい会になっています。新年会には、歯科医師会の理事の先生方にも十数名参加して頂いていて、若い会員にとっては先生と接する機会も少なく苦手意識を持ちがちですが、こういったお酒の席で普段とは違った仕事以外の会話をすることでより身近に感じ日常の仕事に生かせる良い機会になっています。

技工士会単体でも、今年は秋に、釣り堀ツアーを行いました。自然に触れてリフレッシュでき、何より釣って、その場で料理してもらった、ニジマス等の魚が大変美味しかったです。

苫小牧歯科技工士会では、主にこのようなイベントを行っていますが、皆さんの地域ではどのような活動をされているでしょうか？参考にしたいとおもいますので是非教えてください。



# Congratulations

## 大澤 孝様、下澤正樹様 厚生労働大臣表彰受賞おめでとうございます。

昨年の10月17日、18日に福岡で行われた一般社団法人 日本歯科技工学会 第37回学術大会に於いて北海道から大澤 孝様、下澤正樹様の2名が名誉ある厚生大臣表彰を受賞されました。大澤様は長きに渡り、北海道歯科技工士の役員として歯科技工士の待遇改善や学術支援など歯科技工士の資質向上に幅広く貢献され、下澤様は日本歯科技工士の理事として歯科技工士の環境衛生などにご尽力されたことが今回の受賞に至ったものです。厚生大臣表彰受賞祝賀会は、1月30日に札幌サンプラザにおいて盛大に行われました。今回はお二人からいただいた受賞の抱負を掲載致します。

### 続く課題へ不断の務めを

### =厚生労働大臣表彰と紫紺章を戴き=

### 札幌歯科技工士会 下澤正樹

もしも歯科医療に「民への価値」があるのなら、歯科技工に同種の価値がないはずはない。何故なら、患者個別調製装置の適用は歯科医療のドマンナカだからです。しかし価値あるはずの歯科技工とこれを担う歯科技工士の境遇は、まるで価値が無いかのようだ。私が「社会と歯科技工」について考え発信するようになった動機は、この落差への憤りでした。

多くの方々に助けを戴きながら、以後の私は良く言えば「信念を貫く」であり、同時に時流に乗れず、たくさんが無礼を重ねたと思います。この稿でもそんな私を綴らせていただきます。

### < 厚生大臣告示 > 「ナナサン告示」と将来課題

現代の国際経済における最大の課題は、統制と放任のバランスです。古くは旧ソ連の統制経済と米国等の放任経済とが衝突していました。現在ではそのどちらもがそれぞれ単独では不全に作用することが知られ、残る共産国家でさえ変動制を一部に取り入れており、片や新自由主義（競争原理主義）だけで成功する国家はありません。いずれの国家もが統制と放任のバランスを図り、安定と継続を図ろうとしているのです。

三十年ほど前、歯科技工士会はこの二項対立に挑みました。その期待は「自分たちも統制経済に入る（「社会保険歯科技工所」制度の発足）」というものでしたが、数年後に得られた政治・行政施策は「既存制度の内側の文言変化」でした。送出形式は確かに大臣告示でしたが、それは社会保険歯科医療機関の経済の「内側の割合」であったのです（昭和63（1988）年）。

この差異は正確に周知されず、全国に多くの悲劇を生みました。途中経過（昭和61年2月）では歯科医師側における合意の反故もありましたが、歯科技工士側には教養が足りなかったと私は整理しております。

現在の環境はこうした歴史のうえにあります。ですから現在と将来の我々が取り組むべきは、a「国民皆保険という統制経済下での歯科技工委託」とb「強い放任経済下に在る歯科技工受託」との【あいだへの施策】です。実は難しくありません。たとえば米国大統領選のサンダース候補が掲げる民主社会主義的（democratic socialism）な経済政策です。我々はここへ向け、教養を高め、言うべきことは言う気概をもつことです。



### <財務大臣告示> 「関税番号 9021-21」邦文改正

平成11（1999）年、歯科医師資格を有する代議士が衆議院厚生委員会において「（海外に流出する入れ歯等は）歯科技工シェアの5%（に）も達するのではないかと・・・」と質問し、これらが独り歩きを始めました。誤解が誤報を再生させ拡散。斯界が大きく動揺したのです。

私は当時日技の常務理事（調査企画）として、『HS条約』の貿易関税表のひとつ（Artificial teeth）にたどり着きました。この実態は人工歯の輸入量でしたが、その邦文は「義歯」となっており、マスコミ各社さえも「患者への義歯の輸入が増加」と見誤ったのです。

私はこの対策として条約の日本語表の字句変更を提案し、理事会の支持を得て活動。財務省関税局、厚労省医政局の経済課と歯科保健課、日本歯科商工協会等々、多くの方々に理解していただき、平成16（2004）年12月21日・官報号外第282号において財務大臣告示として、通関関号9021-21（義歯）の細目に『人工歯』が謳われました。

振り返れば日技在任15年。一定の役には立ったと思っています。感染症予防講習会は今や公益事業の一支柱です。50周年事業における御所への参内とご進講の一翼を担えたことは人生の誇りです。公益法人改革では内部で停滞しましたが、外部には勝っていました。

これらすべては二十年以上に亘り留守を護った岩寺由光氏らと家族による支えがあったからこそ可能でした。

八重樫新一会長をはじめ道技の会員の皆様様に感謝を申し上げますとともに、受賞へ導いて下さった杉岡範明日技会長に御礼を申し上げます。

立憲主義体制の下では用語の定義を理解し、  
足りなければ法令に盛り込むことから始めること  
(ありがとうございました)



会場を盛り上げた皆様との記念撮影!

## 厚生労働大臣表彰を受賞して思うこと・・・

「微力ながら国民歯科医療に寄与するために」

札幌歯科技工士会 大澤 孝

本文を投稿するに至ったそもそもの始まりは約40年前、北海道歯科技工士会（以下、道技と略）へ入会まもなく、職場の上司であった元伊藤正弘会長（当時専務理事）の推薦で道技の理事に就任したことからです。当時通った道技が借りていた事務所は古い木造建築三階の歩くと床板が軋む狭い室で、まるで秘密結社のアジトの様な印象でした。会議では不合理な仕組みから歯科技工士の自立を助ける改革をテーマに、先輩たちが侃々諤々の議論をしていたように記憶しています。会議後の懇親会は参加者が多く、道技役員と会員皆さんが志を共有していたように思えました。私の理事在任中に日本歯科技工士会から届いた歯科技工関連ニュースは会員の多年の努力が一つ一つ結実するかのよう映っていました。地元では念願の道技会館が会員皆の汗の結晶と言える抛出金と3名の多額寄付金を元手に北海道からの補助金と合わせて、歯科技工士のための諸活動の拠点となるべく建設されました。道技の組織は当時の支部役員



の懸命な努力と技工士会への期待も高まり、会員数は増加傾向でピーク時には1,236名にまで達しました。しかし、現在は減少傾向が止まらず、寂しいことに半分以下になっています。最も注目した7:3大臣告示では取引先の理解が得られず技工所で大変混乱しました。この大臣告示は歯科技工士の経済的自立を助けるものと誤解されていました。結果はご承知の通りそれまでの努力は打ち砕かれてしまいました。その後大臣告示の進展は全く見られず、まるで風前の灯のようです。国民が一番望む社会保険診療を主に担っている勤務歯科技工士の低賃金長時間労働の実態は昔も今も変わりません。その実態を示すかのように若い歯科技工士の離職率が7割以上といった報告があります。「昔の人は自己犠牲の精神で尽くす傾向にありましたが今の若者はそんな訳には行かないようです」とよく耳にします。上記「尽くす」は「献身的に努力する」のほかに「すべてを使い切る」といった意味もあります。若者の離職が皮肉にも報酬不足による歯科技工経済の悪化を食止めているようで、「尽くす」は立場が逆に犠牲になっているのは若い歯科技工士かもしれません。今や社会一般では離職率が高い企業は間違いなくブラック企業とまで言われています。やりがいがある職種にも拘わらず歯科技工業界は勤務実態が示す指標から間違いなくブラックになります。真剣に国民歯科医療を良くしたいと考えるに、今後一段と人手不足が深刻になると言われている少子高齢化時代に入った現在、悠長に構えて精神論や美辞麗句を並べることは言っていられないように思います。歯科技工士が抱えている問題を一番に解決してもらわないと、国民歯科医療を支える歯科技工士が不足し、質の高い歯科補綴物の提供が危ぶまれることを、外に向かって主張し続けなければならないと思います。



分業化により歯科補綴物の製作が完全に歯科技工士に委ねられ、益々歯科医師との連携が重要になってきているにも拘らず、現在の歯科技工に関する養成教

育年限と社会保険診療報酬制度は歯科医師が診療の傍ら歯科技工を行っていた古い時代からあまり変わっていないと思います。他の医療従事者には正当な対価を100%もらえ当然のごときある社会保険診療報酬制度が歯科技工士には社会保険歯科技工士報酬制度なるものが無いことに、私は理不尽さを感じています。これらを解決するのは困難でしょうが諦めないでこれからも念仏のように唱え続けます。若い歯科技工士にこの志が引き継がれいつか叶うことを願っています。

## My favorite

空知歯科技工士会 山本英樹さん

私のお気に入りというテーマで原稿の依頼をいただきました。

以前、道歯会報に「葉巻」のことを書かせていただいたことがあったので、今回は、私の目下のお気に入りである「万年筆」のことを書いてみようと思います。

理由は忘れてしまいましたが、数年前、一本の万年筆を手に入れたのをきっかけに、その道具としての美しさや面白さにすっかりはまってしまいました。それ以来一本、また一本と少しずつ増えてゆき、いつの間にか結構な本数になってしまいました。

万年筆と一言にいても、字幅やペン先の硬さ、軸の太さや重さの組み合わせによってさまざまな書き味のものがあります。デザインも個性的で非常に美しいものも多くあり、それらを眺めているだけでも十分楽しいものです。

しかし、私が一番気に入っているところは、その扱いにひと手間、ふた手間と必要などころです。

特に、インクを吸引させる際の一連の作業をするときに、私の一番好きな時間で、このひと手間かける時間が、私にとってちょうど良い気分転換になっているのだと思います。仕事で疲れているときなど、気が付けば、必要もないのにどのインクを入れようか、などと考えていることがあったりもします。

私には収集癖はもともとあまりありませんが、ある程度まとまった数になったものを眺めていると、もっと集めたいと考えるのがどうも人情のようで、これまでは自然に集まったものでしたが、これからは意識的な「コレクション」も楽しみたいと考えています。ただ、いくら素晴らしい道具を使っても、生来の悪筆だけはどうにもならないみたいです・・・。



## FOCUS 「女性歯科技工士さんの復職について」

女性歯科技工士さんは結婚、育児で離職する割合が高いですが、子育てが一段落した後に資格をもっている歯科技工士として再就職されているとは限りません。今回、就業者の要望に合わせた雇用体系をとっている札幌市の株式会社プライムデンタルさんを訪問し、パートタイムで勤務されている4名の女性歯科技工士さんにお話を伺いました。北島正之社長をはじめスタッフの方々にはお忙しい中対応していただき本当にありがとうございました。

### Q1, 歯科技工士という職業の魅力や、やりがいはどこにあると思いますか？

- A1, 物作りが楽しい  
A2, 患者さんの顔は見えないけれど、指示書のお名前を見て、「〇〇さん喜んでくれるといいなあ」と思いながら排列しています。  
A3, 患者さんの咬める幸せに続がるどころ  
A4, 身内の義歯製作に関わった時は嬉しかったです。



### Q2, 離職期間はどのくらいですか？

- A1, 5年  
A2, 1年2ヶ月  
A3, 1年7ヶ月  
A4, 1年1ヶ月

### Q3, 復職してからの期間

- A1, 1年9ヶ月  
A2, 3年10ヶ月  
A3, 10ヶ月  
A4, 2年2ヶ月

### Q4, お子様の年齢はおいくつですか？また、何人ですか？

- A1, 小学1年生、保育園(3歳)  
A2, 保育園(1歳9ヶ月)  
A3, 幼稚園(5歳5ヶ月)  
A4, 2歳



### Q5, 復職しようと思ったきっかけは？

- A1, 子供が1歳になるタイミングで育児から復帰しました。

- A2, 社長から声をかけていただいた。  
A3, 復職予定で産休をいただいていた。  
A4, 離職前に務めていたため、復職をお願いした形。

### Q6, 就業内容について

- ① 1週間の就業日数および曜日  
② 一日の就業時間( : ~ : )  
A1, 週5日、(9:00 ~ 14:00)  
A2, 週5日、(6:00 ~ 19:00)  
A3, 週5日、(10:30 ~ 15:30)  
A4, 週5日、(9:00 ~ 14:00)

### Q7, 業務内容(例、人工歯排列・歯肉形成等)

- A1, Wax-up、マウント準備、マウント  
A2, 人工歯排列  
A3, トレー製作、作業模型製作、複模型製作  
A4, 歯肉形成、マウント準備

### Q8, 家事、育児との両立で難しい点について

- A1, 時間がない  
A2, 時間が足りない、体力勝負(笑い)  
A3, まだ感じていない(就業時間を融通していただいている)  
A4, 以前は100%仕事だったが子供が生まれると子供が第一なのでそのギャップに多少苦しむ。

### Q9, 現在離職されている女性歯科技工士さんへのアドバイス(復職してよかったこと)

- A1, 私の場合は我が子を他人にあずけて働きに出るのに抵抗がありました(子供がかわいくて離れたくなかった!)。ですがいざ復職してみると、子と2人1日中向き合っているより、お互いにリフレッシュでき、よかったと思う。外に出てみるといろいろ気づきがあり、新鮮で充実した毎日が送れましたよ。  
A2, 理解のある社長、ラボに出会えることができれば復職は可能だと思います。  
A3, 資格があるおかげで復職もわりとスムーズにできるのではないかと思います。  
A4, パートタイムなら働きやすいです。



### Q10, 復職を決定した条件(雇用者に対して)

- A1, 会社の理解があるおかげではありますが、子供の都合に合わせてお休みさせていただいたり時間の変更等も相談に乗っていただいています。  
A2, 就業時間の要望を100%受け入れていただいています。復職して最初の1年半くらいは週3日の就業日数を受け入れていただきました。  
A3, 社長を信じて復職しました。  
A4, 子供の都合に合わせてくれる



### Q11, 現在歯科技工士学校で勉強している女性学生へのエールをお願いいたします。

- A1, 超高齢者会の今、入れ歯を作る歯科技工士はとても復職しやすい資格だと思います。出産や育児で一時離職してしまう女性にピッタリ!  
A2, 子供がいるので正社員としての勤務は難しいですが、パートとしてなら時間内で楽しく働けるのではないかと思います。  
A3, 子育てとの両立がしやすいです(パートならば)。  
A4, 体力的にキツイこともたくさんありますが頑張ってください。

発行日 2016 3月25日  
発行 公益社団法人北海道歯科技工士会  
〒001-0037 札幌市北区北37条西4丁目3-8  
☎011(717)7155  
e-mail:dougi@abelia.ocn.ne.jp  
編集 就労対策担当常務理事 西川圭吾